

外見上も河良橋の雛の背中にはうぶ毛があるが、浅山橋の雛にはうぶ毛がない点で識別できたので2番の繁殖が確認できた。

その後これらの雛は生長し、8月上旬には親鳥なみの体になり単独で行動するようになった。

4. 新たな雛の観察 8月5日に河良橋下流約200mで黒いうぶ毛の雛4羽を確認した。また9月8日には河良橋の真下でフ化後間もないと思われる雛3羽+を確認した。したがって今年五反田川流域でフ化を確認した雛は4組、17羽となった。

本稿をまとめるにあたっては、柴原克明氏の援助を頂いた。厚くお礼申し上げる。

1982年9月15日受理。

1. 〒896 鹿児島県串木野村元町112. (鹿児島県支部)

First Breeding Record of White-breasted Waterhen *Amaurornis phoenicurus* in Kyushu

Shoichi Tanaka¹

The author found one nest of a White-breasted Waterhen *Amaurornis phoenicurus* containing seven eggs in April 1982 and recognized their chicks in June 1982 in Kagoshima Prefecture in Kyushu. It is the first breeding record of this species in Kyushu. This species previously bred only in the Ryukyu Islands.

1. 112 Motomachi, Kushikino-shi 896.

高知県におけるシロハラクイナの初記録

澤田佳長¹

1983年5月21日、高知県の西部を流れる四国第二の川、四万十川の上流、高知県幡多郡十和村小野地区でシロハラクイナを確認することができた。

同月20日地元民から不明な鳥の声を録音したので調べてほしいという電話があり、その声を電話で送ってきた。クイナのような声であるが、はっきりしないため、翌日、早朝現地へ、午前6時に着くと道路のそばの休耕地でちらちら動いているのを確認、声も聞えてきた。その後わずかな時間であったが記録用に写真撮影ができた。

現地は土佐中村市から四万十川の上流、車で約2時間ほどの場所である。渡来地は約10aほどの休耕地でかなりの雑草が茂っていた。姿はあまり見せず、昼間はほとんど草の中に入っており、朝、夜間に鳴声が聞えていた。

現地での声の確認は5月3～4日ごろから



図1 高知県で記録されたシロハラクイナ
(1983. 5. 21)

だとのことで、約1か月半ほどを過した。その後水稻の作付けがはじまって姿も声も確認する事ができなくなっている。個体数はオス1羽だけのようであった。

確認にあたって山階鳥研柴田敏隆室長、日本鳥類保護連盟柳澤紀夫主幹、鳥類研究家蒲谷鶴彦氏、十和村教育委員会、蔵川正重氏に謝意を表します。

1983年9月7日受理。

1. 〒787 中村市東町3-3-11

First Record of White-breasted Waterhen
Amaurornis phoenicurus in Shikoku

Kacho Sawada¹

One male of White-breasted Waterhen *Amaurornis phoenicurus* was found on May 1983 in Kochi Prefecture, Shikoku. It was a first record of this species in Shikoku.

1. 3-3-11 Higashi-machi, Nakamura-shi 787.